

2024-2025 年度委員会活動報告

委員会	担当副委員長	事業活動報告
S A A 飯田 哲久	岩村 真二	<p>例会を予定通りに進行できるよう、又終了出来るように時間配分に留意して進行に努めましたが、思い通りに進行出来ない事もありました。予定通り進行するには、演題にデジタル時計を配置した上での打ち合わせが有効だと思いました。ニコニコ箱はおかげさまで、ほぼ目標達成することが出来ました。ありがとうございました。厳粛でかつ楽しい例会運営を行ってきたつもりですが、不十分な所が多々あったかと反省しております。</p>
クラブ 運営 常任 委員会 藤田 貴子	親睦活動 芦田 泰弦	<ol style="list-style-type: none"> 誕生記念、結婚記念、入会記念のお祝いを行った。 季節の行事として、秋には京都のレストランひらまつ高台寺にて懇親会を開催、冬には大阪のホテルコンラッドにてクリスマス会を兼ねた忘年家族例会を開催した。また、春には京都伏見の料亭魚三樓にて懇親会を開催した。
	プログラム 大木 城司	<ul style="list-style-type: none"> クラブ内外の卓話担当者を提案し交渉を行った。例会プログラム、スケジュールを管理した。反省点としては、卓話担当者を多くしたことによる持ち時間の縮小によりスピーカーにストレスを与えたことである。
	会報・広報 鮫島 聖一	<ul style="list-style-type: none"> ガバナー月信を配信。週報配信。クラブの活動をホームページに掲載した。今年度から SNS を利用した活動配信も行った。活動を外部（内部にも）に報告する手段として SNS を利用することで、スピーディーに掲載が可能になったことは良い点と考えられるが、ロータリーの友やホームページへの寄稿が疎かになった事を反省したい。
		5 月末執行額：853.604 円
クラブ 組織 常任 委員会 西田 直弘	会員増強 橋本 憲治	<ul style="list-style-type: none"> メンバー全員に新入会紹介名簿の案内（回収率 90%）：令和 6 年 7 月 10 日 退会防止の強化（全員にて） 退会防止対策の一環として炉辺会議の実施：令和 6 年 10 月 9 日 新人歓迎会実施（クラブ運営委員会・紅葉狩りと同時開催） ：令和 6 年 10 月 30 日
	選考・分類 伊藤 智秋	<ul style="list-style-type: none"> クラブ運営委員会と親睦活動に協力する（伏見にて観桜会） ：和 7 年 4 月 2 日 入会者 8 名、退会者 0 名、交代者 4 名 → 会員数 48 名となる 入会者懇談会開催、参加者 15 名、クラブ組織委員会の予算充当 @4,400（税込）×15 名=66,000 円：令和 7 年 6 月 4 日
		5 月末執行額：0 円
クラブ 研修 常任 委員会 羽根田 茂子	R 情報・雑誌 三井 泰之	<ol style="list-style-type: none"> ロータリーへの関心と理解を深めるために「ロータリーの友」の推奨記事を毎月第 3 例会にて紹介した。 会員相互の理解を深めるため、高槻ロータリークラブの活動を「ロータリーの友」へ投稿した。
	研 修 石田 佳弘	<ul style="list-style-type: none"> 情報集会を開催して会員にロータリーに関する知識を提供して理解を深めた。 <ol style="list-style-type: none"> 第 1 回情報集会 2024 年 8 月 28 日 例会にて 講 師：国際ロータリー第 2660 地区パストガバナー 四宮孝郎様 出席人数：36 名 研修内容：これからのロータリー（ロータリーは楽しくなくっちゃ！）と題して、これからのロータリーは DEI を取り入れて喜びと楽しさを体感する事が大切との卓話をいただきました。

2024-2025 年度委員会活動報告

委員会	担当副委員長	事業活動報告
クラブ研修常任委員会 羽根田 茂子	研修 石田 佳弘	<p>2. 第 2 回情報集会 2025 年 2 月 5 日 例会にて 講 師：ガバナー補佐経験者 伊藤智秋会員 出席人数：43 名 研修内容：高槻ロータリークラブ創立 70 周年記念誌の発行に関して、当クラブの歴史を振り返ってと題して、高槻ロータリークラブの歴史を踏まえて当クラブのあるべき姿についての卓話をいただきました。</p> <p>・ファシリテーションを行い会員相互の理解を深めた。</p> <p>1. 2025 年 6 月 11 日 例会にて 出席人数：37 名 目 的：クラブを“参加しやすく、地域に誇れる団体”へと発展させるため、会員一人ひとりが理想像を共有し、具体的なアクションを考える場とする。クラブの開かれた雰囲気醸成し、新旧会員が「自分ごと」としてクラブの未来を語れる場とする。</p> <p>ゴ ー ル：① 高槻 RC の“理想の姿”を全員で描く ② その実現のために今からできる小さな行動を明確化する</p> <p>・新入会員のオリエンテーションを行い、ロータリーの目的、義務、心構えなどの重要な事項について説明した。</p> <p>1. 第 1 回オリエンテーション 2024 年 11 月 6 日 桃谷樓にて 出席者：内本会長、長井幹事、石田研修副委員長 新入会員：古賀照彦、松田勝也、上田浩一</p> <p>2. 第 2 回オリエンテーション 2024 年 12 月 4 日 桃谷樓にて 出席者：内本会長、長井幹事、羽根田研修委員長 新入会員：日下哲也、尾崎尚親</p> <p>3. 第 3 回オリエンテーション 2025 年 4 月 9 日 桃谷樓にて 出席者：内本会長、長井幹事、羽根田研修委員長 新入会員：板倉史門、岸本大輝</p> <p>4. 第 4 回オリエンテーション 2025 年 6 月 4 日 桃谷樓にて 出席者：内本会長、長井幹事、羽根田研修委員長 新入会員：平林邦幸</p>
	規 定 山口 誠	<p>今年度は規定・規約の変更はございませんでした。</p>
職業奉仕常任委員会 入谷 治夫	内 松尾 浩	<p>1. 創業記念月のお祝い 毎月第一例会時に当月創業となる会員を対象に記念月のお祝いを実施。</p> <p>2. 職業奉仕卓話及びファシリテーション 1 月の職業奉仕月間に職業奉仕卓話を行うとともに、テーマを決め職業奉仕ファシリテーションを実施した。</p>
	外 松下 浩章	<p>3. 職場見学 令和 7 年 5 月 21 日の例会後に元ロータリアンで経営の神様の松下幸之助氏の歴史館を見学し、奉仕の精神を学んだ。</p> <p>4. 優良従業員表彰 令和 7 年 6 月 11 日の例会時に於いて、会員企業である浜田電気工業(株)、(株)小阪工務店の 2 社より優良従業員 2 名を表彰した。</p>

2024-2025 年度委員会活動報告

委員会	担当副委員長	事業活動報告
社会奉仕常任委員会 藤松 功治	教 育 西本恵美子	<p>1. 献血活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場 所 阪急高槻市駅高架下広場 ・キャンペーン名称 献血活動 ・主 催 日本赤十字献血センター・高槻ロータリークラブ 高槻薬剤師会 ・協力団体 高槻中学・高校 IAC ・対 象 者 大阪府民・高槻市民 ・1回目日時 令和6年9月29日(日) 10:00-15:30 ・献血協力者数 83名(実施者65名) ・各団体参加者数 高槻ロータリークラブ10名・高槻 IAC11名 ・執 行 額 IAC 昼食代 8,360円 ・2回目日時 令和7年3月30日(日) 10:00-15:30 ・献血協力者数 85名(実施者78名) ・各団体参加者数 高槻ロータリークラブ6名・高槻 IAC11名 <p>2. 高槻シティハーフマラソン支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時 令和7年1月19日(日) ・場 所 マラソンコース 集合(高槻総合体育館) ・実施項目及び定員 ハーフマラソン(5,000人) 5キロ(1,500人) エンジョイ 2,7キロ(1,000人) ファミリー-2,7キロ(300組) ・事業案内 ポイントスタッフとしてコース上の警備、誘導及び負傷者の 救護、清掃活動を支援する。 ・参加者 高槻ロータリークラブ 16名(ポイントスタッフ) 終了後・ホテルアベストで振り返り意見交換会をしました。 ・執 行 額 お茶・お菓子代 13,373円
	環 境 浦中 郁文	<p>3. いのちキラキラ食裁活動</p> <p>当クラブでは、2008年より「いのちキラキラ食裁活動」と名付け、高槻市教育委員会との共同プロジェクトとして高槻市の幼稚園に通う園児と保護者を対象に発足し、今年で17年目を終了することができた。高槻市立幼稚園の減少などはあるが、先生方の情熱を感じたので、今後も継続事業として続けて行けば良いと思われます。市立幼稚園14こども園中13こども園が参加を希望されている。(1園は休園中)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・執 行 額 冊子及びペーパー-55,000円、培養土、肥料等 94,952円 振込手数料 990円 合計 150,942円 <p>4. 環境美化推進デーに参加協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目日時 令和6年11月17日(日) ・2回目日時 令和7年5月18日(日) ・場 所 JR 高槻駅北側 ・主 催 者 高槻市環境美化推進本部 ・参加者 合計 15人

2024-2025 年度委員会活動報告

委員会	担当副委員長	事業活動報告
国際奉仕 常任委員 中西 美代子	国際交流 飯田 哲久	<ul style="list-style-type: none"> ・フキンタン会長就任式（2024年8月25日） ・マレーシア母子健康維持プロジェクト（GG2459445）発足式 （2024年8月26日） 出席者 9名 執行額 140,000円 ・カルガリ-国際大会（2025年6月21日～25日） 参加者 会員0名 ご家族0名 執行額 0円
	R 財 団 篠原 光子	<ul style="list-style-type: none"> ・ロータリー-財団恒久基金への寄付 41.54ドル/人（5/21時点） ・ロータリー-財団年次基金への寄付 178.47ドル/人（5/21時点） ・ロータリー-財団ポリオプラス基金への寄付 53.79ドル/人（5/21時点）
	米 山 奨 学 堀部 直子	<ul style="list-style-type: none"> ・米山奨学会への寄付 15,057円/人（5/21時点） ・米山奨学生 呉 松源さん（中国）を2024年4月から受け入れ、2025年3月までの1年間 2025年2月23日 終了式 カウンセラー 石田 佳弘会員 ・米山奨学生 尹 柱炫さん（韓国）を2025年4月から受け入れている。受け入れ期間は2025年4月から2026年3月までの1年間 カウンセラー 篠原 光子会員 ・2660地区米山奨学生（関西）40周年記念式典及び総会 執行額 6,495円（米山奨学生会費 6,000円・振込手数料 495円）
	5月末執行額：149,630円	
青少年奉仕 常任委員会 江澤 由	インター-アクト 小阪 大輔	<ul style="list-style-type: none"> ・インター-アクト 学校および地区と連携を図り、高槻中学校・高等学校インター-アクトクラブの支援活動を行いました。 地区が主催する行事には当委員会メンバーが参加し、またインター-アクトクラブの例会や各種活動においても、ロータリーメンバーの参加を促進し、交流や親睦を深めつつ、協働で奉仕活動を実施しました。 あわせて、必要に応じて適宜アドバイスを行い、クラブの活動が円滑に運営されるよう努めました。 ・地区インター-アクトクラブの主な年間計画 1.インター-アクト委員会 2024.7.3 第1回 IAC 委員会 16:00~18:00 ガバナー-事務所 2024.10.7 第2回 IAC 委員会 16:00~18:00 ガバナー-事務所 2024.1.27 第3回（新旧）IAC 委員会 16:00~18:00 ガバナー-事務所 2024.5.12 第4回（新旧）IAC 委員会 16:00~18:00 ガバナー-事務所 2.インター-アクト合同委員会 2024.8.28 第1回 IAC 合同委員会 17:00~18:00 ガバナー-事務所 2024.10.27 第2回 IAC 合同委員会 年次大会終了後 17:00~18:00 ガバナー-事務所 2025.3.3 第3回 IAC 合同委員会 17:00~18:00 ガバナー-事務所 2025.6.1 第4回 IAC 合同委員会 新入生歓迎会終了後、大阪桐蔭中学校・高等学校 本館アリーナ(1F 演習室)

2024-2025 年度委員会活動報告

委員会	担当副委員長	事業活動報告
青少年奉仕常任委員会 江澤 由	インター・アクト 小阪 大輔	<p>3.その他年間スケジュール</p> <p>2024.6.1 新入生歓迎会 大阪桐蔭中学校・高等学校 本館アリーナ</p> <p>2024.7.6 研修旅行オリエンテーション アサンプション国際中学校・高等学校</p> <p>2024.8.1～4 研修旅行 台湾・台北 国際ロータリー第 3521 地区</p> <p>2024.8.31 クラブ青少年奉仕委員会合同委員会会議 大阪 YMCA 国際文化センター</p> <p>2024.10.27 年次大会 大阪桐蔭中学校・高等学校</p> <p>2024.11.29～30 地区大会 大阪国際会議場</p> <p>2024.3 活動報告書「スクラム」発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高槻中学・高等学校インターアクトクラブ総会に出席しました。また、高槻中学・高等学校主催の文化祭に訪問しました。 ・当クラブの社会奉仕事業の活動内容に応じて、インターアクトクラブが参加して活動できるように配慮しました。 ・高槻中学・高等学校インターアクトクラブが行う事業において、協力、参加をしました。 ・関西大学・大阪医科薬科大学医工薬連環科学教育研究機構の小・中学校の「自由研究コンテスト」への支援をしました。 ・子どもの居場所づくりプロジェクト（孤立・いじめ・不登校ゼロ）として、こどもの未来創造PT、阿武山小学校放課後子供教室運営委員会、社会福祉法人照治会、平安女学院大学が連携し、「子どもの居場所づくり事業」を実施・支援しました。 こどもたちが地域コミュニティの大切さを学び、夢を育む機会として、熱気球を活用した思い出に残る事業を実施しました。地域と共に成長する気概を育むことができました。また、事業の内容や意義については高槻市内で広報を行い、市全体で「子どもの居場所づくり」の必要性とその重要性について理解を深めるきっかけとなりました。 <p>1.「クリスマス製作をしよう！」</p> <p style="padding-left: 20px;">会場 平安女学院大学</p> <p style="padding-left: 20px;">2024 年 12 月 14 日（土）14 時 00 分～15 時 30 分</p> <p>クリスマスに向けた楽しい制作活動を通じて、有意義なひとときを過ごすことができました。制作中は先生の丁寧なレクチャーもあり、子どもたちはそれぞれのこだわりを活かして素敵なクリスマス作品を完成させました。イブの 24 日、そして 25 日のクリスマスには、ご自宅に飾り、ご家族で素晴らしいクリスマスを迎えられたことと思います。この活動を通じて、地域とともに子どもたちの成長を支える大切さを改めて実感できる貴重な場となりました。</p> <p style="text-align: center;">◎低学年の部 7 名 高学年の部 5 名 合計 12 名 申込合計 17 名 ※欠席者 5 名（4 名はインフルエンザ）</p>

2024-2025 年度委員会活動報告

委員会	担当副委員長	事業活動報告
青少年奉仕常任委員会 江澤 由	インターアクト 小阪 大輔	<p>2.「現役カウンセラーが伝えたい「子育てがちょっと楽になるコツ」 会場 平安女学院大学 2025年2月8日(土) 14時00分～15時30分</p> <p>日々の子育ての中で生じる様々な「問題」について、心理学の視点からどのように捉え、どのように対応していくべきかを参加者の皆さんと共に考えるよい機会となりました。講演では、親子関係がギクシャクする要因をご説明いただき、より良い関係を築くための実践的な方法等をご紹介いただきました。参加者からは「日常の悩みに対する具体的なアドバイスが役立った」「子どもの気持ちに寄り添う大切さを再認識した」といった声が多く寄せられました。今回の講演を通じて、子育てにおける「問題」を前向きに捉え、親も子どもも成長できる視点の大切さについて学ぶことができたと思います。</p> <p>◎申込 33名：キャンセル1名、欠席5名 合計27名</p> <p>3.「こどもの居場所プロジェクト 熱気球体験事業」 会場 平安女学院大学 2025年3月31日(月) 予備日での開催 7時30分～11時00分</p> <p>地域の子どもたちや保護者が参加し、地域交流と笑顔あふれる貴重な機会となりました。 地域のメディアやSNS等を通じて情報発信を行い、「こどもの居場所づくり」の必要性や取り組みの重要性について広く周知することができました。</p> <p>◎申込 269名：合計227名</p> <p>1.2.3.それぞれの事業について、J:COM様、および、毎日新聞社様に広くご紹介いただきました。</p>
		5月末執行額：811,937円
青少年育成基金 中西 美代子		<ul style="list-style-type: none"> ・新世代の育成と文化の担い手となる地域づくりを行う為、高槻市少年少女ジュニアバンドの見守りと高槻市、島本町の小中高生で多大な功績を残された方たちを表彰して来ましたが、2023-2024年度で終了しました。 ・子供達の成長を支援し、地域の人材を育成することにより、活力ある地域社会を実現出来ればと新たな基金の活用を模索しています。 ・高槻ユースオーケストラ・高槻市少年少女ジュニアバンド第4回定期演奏会 令和7年5月10日(土) 13時30分～ 高槻市生涯学習センター2階多目的ホール
		5月末執行額：0円

2024-2025 年度委員会活動報告

委員会	担当副委員長	事業活動報告
中長期クラブ戦略委員会 石田 佳弘		<p>今年度は委員会活動を実施できませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員の他活動との調整困難 ・クラブ内での優先順位の設定が不十分であったこと ・委員長としての開催計画や日程調整が整わなかったこと ・早期に日程を確保し、計画を明示すべきであった ・委員会開催への積極的な働きかけが不足した ・年度開始時点で活動スケジュールを明確に設定する ・クラブ内での中長期戦略の重要性を再確認し、意識付けを行う <p>今年度は活動実績がなく反省しておりますが、中長期戦略の必要性はますます高まっており、次年度以降は明確な目的と計画を持って積極的に活動していただきたいと願います。</p>
		5 月末執行額：0 円